

2026年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月21日

上場会社名 清鋼材株式会社 上場取引所 東
コード番号 3448 URL <https://www.suga-steel.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星野 陽一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山本 正人 (TEL) 025 (553) 0121
中間発行情報提出予定日 2025年12月26日
配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期中間期の連結業績 (2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,032	△19.3	△35	—	△62	—	△60	—
2025年3月期中間期	1,280	△17.1	△31	—	△34	—	△32	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 △54百万円 (—%) 2025年3月期中間期 △43百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△203.22	—
2025年3月期中間期	△107.96	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	1,936	246	12.7	823.65
2025年3月期	1,778	300	16.9	1,005.92

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 246百万円 2025年3月期 300百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期中間期	△116	△66	250	176
2025年3月期中間期	248	△18	△361	130

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	0.00			—	—	—
2026年3月期(予想)		—	—		—	

(注) 2026年3月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
	2,625	13.2	58	—	30	—	18	—	61.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） — 、除外 一社 （社名） —

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	300,000株	2025年3月期	300,000株
2026年3月期中間期	1,000株	2025年3月期	1,000株
2026年3月期中間期	299,000株	2025年3月期中間期	299,978株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の世界経済は、地政学リスクの長期化やアメリカの通商政策、中国経済の停滞継続など懸念が残るものの、概ね緩やかな回復基調で推移しております。日本経済は、堅調な企業収益や持ち直しつつある個人消費、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調となっております。一方で、世界的な金融引き締めの影響や中国経済の減速懸念、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、為替変動等、先行き不透明な状況が続いております。

海外鉄鋼市場は、欧州では回復の兆しが見られるものの、中国経済の停滞継続に伴う需給ギャップの拡大、米国の高関税の継続などにより、全体として市況は低調に推移しております。国内鉄鋼市場は、建設業や製造業が低調に推移し、住宅着工や機械受注についても資材価格高騰や人的資源不足などの要因から不安定な状況が続き、鉄鋼受注・生産ともに低調に推移しております。

このような市場環境・経営環境の中で、当中間連結会計期間の売上高は1,032,916千円（前年同期比19.3%減少）、営業損失は35,206千円（前年同期は営業損失31,545千円）、経常損失は62,051千円（同経常損失34,204千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は60,761千円（同親会社株主に帰属する中間純損失32,384千円）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

(日本)

売上高は805,184千円（前年同期比21.4%減少）、セグメント損失は37,771千円（前年同期はセグメント損失37,867千円）となりました。鉄鋼市場が低調に推移したこと等により、減収減益となっております。

(タイ)

売上高は227,731千円（前年同期比10.9%減少）、セグメント利益は2,564千円（同59.4%減少）となりました。鉄鋼市況が低調に推移したこと等により、減収減益となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は892,034千円で、前連結会計年度末に比べ141,414千円増加しております。現金及び預金の増加62,422千円、売掛金の増加35,796千円、商品及び製品の増加17,331千円、仕掛品の増加16,071千円、原材料及び貯蔵品の増加15,952千円が主な変動要因であります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は1,044,746千円で、前連結会計年度末に比べ16,555千円増加しております。建設仮勘定の増加57,928千円、機械装置及び運搬具（純額）の減少28,422千円、建物及び構築物（純額）の減少12,242千円が主な変動要因であります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は848,873千円で、前連結会計年度末に比べ12,176千円増加しております。1年内返済予定の長期借入金の増加37,445千円、未払金の増加5,341千円、賞与引当金の増加4,188千円、買掛金の減少16,449千円、未払消費税等の減少15,764千円が主な変動要因であります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は841,636千円で、前連結会計年度末に比べ200,291千円増加しております。長期借入金の増加205,950千円が主な変動要因であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は246,271千円で、前連結会計年度末に比べ54,498千円減少しております。親会社株主に帰属する中間純損失60,761千円の計上による利益剰余金の減少、為替換算調整勘定の増加6,262千円が主な変動要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は176,294千円（前連結会計年度末比63,408千円増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は116,140千円（前年同期は248,239千円の獲得）となりました。主な減少要因は税金等調整前中間純損失の計上61,323千円、棚卸資産の増加額54,084千円、売上債権の増加額28,142千円等、主な増加要因は減価償却費43,520千円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は66,662千円（前年同期は18,583千円の使用）となりました。主な減少要因は有形固定資産の取得による支出63,172千円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の使用獲得した資金は250,841千円（前年同期は361,722千円の使用）となりました。主な増加要因は長期借入れによる収入300,000千円等、主な減少要因は長期借入金の返済による支出53,677千円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は不安定な市況が続いている一方、日本経済は、海外経済の回復に伴う輸出増加等を背景に回復基調にあり、中でも当社グループが営む鋼材加工事業の主要市場である建設機械業界及び産業機械業界の需要動向は緩やかな回復基調にあります。

このような経営環境下において、当社グループは『鉄を通して豊かな未来と生活を創造する』を経営理念に基づいて経営諸施策を着実に実行し、業績の向上と企業価値の増大に努めるとともに、事業を通じて社会的課題解決にも取り組んでまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	113,920	176,342
受取手形	1,404	274
売掛金	175,548	211,345
電子記録債権	120,803	113,086
商品及び製品	58,158	75,490
仕掛品	25,112	41,184
原材料及び貯蔵品	246,992	262,945
その他	8,717	11,414
貸倒引当金	△40	△50
流動資産合計	750,619	892,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	208,252	196,010
機械装置及び運搬具（純額）	259,449	231,026
土地	455,468	451,868
リース資産（純額）	43,014	39,078
建設仮勘定	—	57,928
その他（純額）	5,158	6,600
有形固定資産合計	971,343	982,512
無形固定資産		
ソフトウェア	6,987	7,268
その他	1,275	1,275
無形固定資産合計	8,263	8,543
投資その他の資産		
投資有価証券	11,200	11,200
長期前払費用	10,487	11,048
保険積立金	17,727	22,466
その他	9,649	9,454
貸倒引当金	△480	△480
投資その他の資産合計	48,584	53,689
固定資産合計	1,028,191	1,044,746
資産合計	1,778,811	1,936,781

清鋼材株式会社 (3448)
2026 年 3 月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)
(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	194,153	177,704
短期借入金	467,280	465,200
1 年内返済予定の長期借入金	83,042	120,488
リース債務	5,639	5,579
未払金	20,310	25,651
未払費用	41,900	41,935
未払法人税等	265	265
未払消費税等	16,606	842
賞与引当金	5,440	9,628
その他	2,058	1,578
流動負債合計	836,696	848,873
固定負債		
長期借入金	576,916	782,867
リース債務	36,659	32,718
退職給付に係る負債	19,583	18,739
繰延税金負債	8,185	7,311
固定負債合計	641,344	841,636
負債合計	1,478,041	1,690,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	73,758	73,758
利益剰余金	159,217	98,456
自己株式	△3,405	△3,405
株主資本合計	329,571	268,809
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△28,801	△22,538
その他の包括利益累計額合計	△28,801	△22,538
純資産合計	300,769	246,271
負債純資産合計	1,778,811	1,936,781

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

① 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	1,280,190	1,032,916
売上原価	1,122,931	893,201
売上総利益	157,258	139,714
販売費及び一般管理費	188,804	174,921
営業損失(△)	△31,545	△35,206
営業外収益		
受取利息	177	1,839
為替差益	15,279	—
その他	433	289
営業外収益合計	15,890	2,128
営業外費用		
支払利息	12,596	13,469
支払手数料	5,505	4,671
為替差損	—	10,383
その他	446	448
営業外費用合計	18,548	28,972
経常損失(△)	△34,204	△62,051
特別利益		
固定資産売却益	2,995	728
特別利益合計	2,995	728
税金等調整前中間純損失(△)	△31,208	△61,323
法人税、住民税及び事業税	265	312
法人税等調整額	910	△873
法人税等合計	1,175	△561
中間純損失(△)	△32,384	△60,761
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△32,384	△60,761

② 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失 (△)	△32,384	△60,761
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10,791	6,262
その他の包括利益合計	△10,791	6,262
中間包括利益	△43,176	△54,498
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△43,176	△54,498
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△31,208	△61,323
減価償却費	39,973	43,520
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,264	4,188
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,650	△844
受取利息	△177	△2,019
支払利息	12,596	13,469
為替差損益 (△は益)	△15,279	10,383
固定資産処分損益 (△は益)	△2,995	△728
売上債権の増減額 (△は増加)	176,397	△28,142
棚卸資産の増減額 (△は増加)	144,727	△54,084
仕入債務の増減額 (△は減少)	△80,967	△14,760
未払金の増減額 (△は減少)	△4,836	1,740
未払費用の増減額 (△は減少)	3,178	1,763
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,849	△15,747
その他	5,779	△2,297
小計	266,951	△104,881
利息の受取額	177	2,019
利息の支払額	△15,797	△14,600
法人税等の支払額	△3,092	△265
法人税等の還付額	—	1,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	248,239	△116,140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,798	△63,172
その他	△4,784	△3,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,583	△66,662
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△338,400	13,320
長期借入れによる収入	30,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△42,840	△53,677
リース債務の返済による支出	△2,274	△2,615
シンジケートローン手数料の支払額	△4,802	△6,185
自己株式の取得による支出	△3,405	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△361,722	250,841
現金及び現金同等物に係る換算差額 (△は減少)	12,761	△4,630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△119,304	63,408
現金及び現金同等物の期首残高	249,717	112,886
現金及び現金同等物の中間期末残高	130,412	176,294

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。当社グループは、主に鋼材加工事業を行っており、各地域において現地法人が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは、「日本」及び「タイ」の2つを報告セグメントとしております。

セグメント区分	主要業務
日本	鋼材加工事業（主に建設機械・産業機械用部品の加工・販売）
タイ	同上

(2) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、中間連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの損益は、営業損益の数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場価格等に基づいております。

(3) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結財務 諸表計上額 (注2)
	日本	タイ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,024,729	255,460	1,280,190	—	1,280,190
計	1,024,729	255,460	1,280,190	—	1,280,190
セグメント利益又は損失 (△)	△37,867	6,322	△31,545	—	△31,545
セグメント資産	1,642,958	570,848	2,213,807	△354,159	1,859,647
セグメント負債	930,227	759,418	1,689,646	△199,452	1,490,193
その他の項目					
減価償却費	23,504	16,468	39,973	—	39,973

(注1) 調整額の内容は、セグメント間取引消去高です。

(注2) セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業損失 (△) と一致しております。

当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結財務 諸表計上額 (注2)
	日本	タイ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	805,184	227,731	1,032,916	—	1,032,916
計	805,184	227,731	1,032,916	—	1,032,916
セグメント利益又は損失 (△)	△37,771	2,564	△35,206	—	△35,206
セグメント資産	1,750,164	640,776	2,390,940	△454,159	1,936,781
セグメント負債	1,128,662	867,063	1,995,725	△305,215	1,690,510
その他の項目					
減価償却費	24,365	19,155	43,520	—	43,520

(注1) 調整額の内容は、セグメント間取引消去高です。

(注2) セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業損失 (△) と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。